

# ヒメトガリネズミ

*Sorex gracillimus*

トガリネズミ科

## 名前の由来

ヒメ（姫）は一般に小さいものに付けられる事が多く、小さいトガリネズミであることを指す。

漢字名：姫尖鼠

## 形態的特徴

頭胴長49～58mm、尾長40～46mm、後足長10～12mm。尾に長く逆立った毛が生える。背面の経路は暗褐色、腹は銀灰色。

## 生息環境・分布

草原や森林。オオアシトガリネズミやエゾトガリネズミに比べて個体数が少なく、生態はほとんど知られていない。

**分布：**国外ではサハリン、ロシア沿海に、国内では、北海道に分布。北海道内では、北海道本島、利尻、礼文に分布。十勝地方では、平地から山地の草地や樹林に生息するが多くない。全域の平地や農地などに広くみられる。

## 興味深い話（トガリネズミ類を通して）

■トガリネズミはネズミと名がついているが、食虫目でモグラなどの仲間。ただし北海道にモグラ科に属する動物はいない。

■トガリネズミの腹にはジャコウ腺があって強烈な匂いを発する。

■積雪期にキタキツネなどがわずかに餌とする様だが、トガリネズミ類は強い匂いを発するためか、あまり他の動物に捕食されない様である。キタキツネやネコなどが春から秋の餌の豊富な時期にトガリネズミ類を捕らえて殺すが、食わずに放棄することがある。そのためか道端などで死んでいるものを見かける事がある。

■トガリネズミ類の毛はきわめて上質で、手で触れると

ビロードのように柔らかな触感がある。

■基礎代謝量が多く、活発に動き回るため、ほとんどの時間を食べる為に費やさないとエネルギーがまかなえない。したがって、生捕り罠などにかかると死んでしまう事が多い。

■エゾトガリネズミはトガリネズミの亜種。トガリネズミはユーラシア北部一帯に広く分布している。

■北海道にいるトガリネズミの仲間にはもう一つトウキョウトガリネズミがいる。これは世界で最も小型の哺乳類で、体重が2g前後だという。

■十勝地方のアイヌ語ではトガリネズミ類一般を「エトゥチケレブ」と呼ぶ。

## 参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994

「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新聞社 1997

「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

「フィールドガイド 足跡図鑑」子安和弘 日経サイエンス社 1993

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館編集、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類  
ワシ・タカ